

2017年

1月

January



Koryu  
Corner  
News

交流コーナーだより



Halal Food 成田屋 取材!

公益財団法人 仙台観光国際協会(SenTIA)

〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10 A棟11階

TEL : 022-268-6260 FAX : 022-268-6252

EMAIL : plan@sentia-sendai.jp

【交流コーナー】

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内

TEL : 022-265-2471 FAX : 022-265-2472

EMAIL : koryuc@sentia-sendai.jp

1月の交流コーナー休室日

1月1日(日)～4日(水)、25日(水)

※休室日は変わることがあります。ウェブサイトでご確認ください

## SenTIA Information

### 平成29年度せんだい留学生交流委員募集!

SenTIAでは、SenTIAの事業に協力し、地域の国際交流や外国人支援に取り組む外国人留学生を「せんだい留学生交流委員」として募集します。たくさんの留学生のご応募をお待ちしています。また、知合いの留学生がいらっしゃいましたら、ぜひお知らせください。

募集期間：12月2日(金)～1月20日(金)

問合：SenTIA国際化事業部

TEL : 022-268-6260

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://int.sentia-sendai.jp/blog/j/j-1439/>



### Give Awayのお知らせ

交流コーナー図書室での保存期限の過ぎた図書や雑誌、海外の新聞などをご自由にお持ち帰りいただけます。(英字新聞はお1人15部まで)

1月23日(月)～1月29日(日)



## Event Information

### パネルディスカッション「21世紀のメディアの役割」

地元メディアの方を招き、東北大学留学生、日本人学生がパネルディスカッションを行います。

日時：1月13日（金）18：30～19：45

SenTIA補助事業

場所：東北大学片平キャンパス南総合研究棟2号館 4階  
セミナールーム

対象：どなたでも 参加費：無料

主催・問合せ：The Sentinel（ザ・センチネル）

申込：氏名・ご所属を記載し、1月10日まで  
tohokusentinel@gmail.com に連絡

### アフリカからの人類の旅

#### —日本列島への到来—

日時：1月19日（木）10：00～

場所：仙台国際センター交流コーナー 研修室A

対象：どなたでも（事前申込不要）

参加費：1,000円

主催：アフリカ・セミナーの会

問合せ：アフリカ・セミナーの会（鈴木）  
022-362-7907

### 外国語の絵本おはなし会（アメリカ編）

日時：1月15日（日）11：00～11：45

場所：泉図書館2F 大研修室

対象：幼児～小学校低学年 定員：先着30名 参加費：無料

主催・問合せ：泉図書館 022-375-6161

協力：（公財）仙台観光国際協会（SenTIA）

国際化推進課 交流係 022-265-2471

### 第14回「世界の料理を作ろう！」恵方巻編

日時：1月28日（土）10：00～14：00

場所：仙台国際センター交流コーナー 研修室B

対象：どなたでも ※定員30名

参加費：1,000円（小学生500円、小学生以下無料）

主催：ございん料理教室

申込：連絡先を明記しFacebook「Gozain Gozain」  
か、info.help.friends.2015@gmail.comに連絡

### MIA日本語サポータービギナー研修会

#### ～外国人に日本語を教えるボランティア活動について

#### 一緒に学びませんか？～

日時：1月18日（水）13：00～16：00

場所：（公財）宮城県国際化協会(MIA)

※宮城県仙台合同庁舎7階

対象：MIA日本語サポーター登録者。定員20名（先

着・要申込）未登録者で参加希望の場合は、要事前登録

参加費：無料

主催／申込：（公財）宮城県国際化協会

022-275-3796 mail@mia-miyagi.jp

### 「チェルノブイリから見た福島」報告会

日時：1月29日（日）12：00～20：00

場所：仙台国際センター交流コーナー 研修室B

対象：どなたでも

参加費：500円（日本ユーラシア協会会員は無料）

主催／申込：日本ユーラシア協会宮城県連合会  
022-263-4360 cheb@live.jp



## Halal Food 成田屋 仙台店 取材

<ハラール食>という言葉を知っていますか？イスラム教の戒律に則り、豚肉やアルコールを使わない料理のことです。ハラール食というと現地料理を想像するかもしれませんが、Halal Food 成田屋はハラール食対応の食材のみを利用し、ラーメンや唐揚げといった日本人が普段食べるようなメニューを提供しているのが特徴です。交流コーナースタッフが店長の倉田隆良さんに取材をしました。

### ・どんな人が来ますか？

約98%が外国人のイスラム教徒（以下ムスリム）で、2%が日本人や非ムスリムです。外国人は特にインドネシア、マレーシア、バングラデシュ出身者が多いです。仙台に住む留学生がほとんどですが、お客さんがSNSで広めてくれたおかげで観光客が食べに来ることもあります。G7の際はマレーシアのVIPが警護付きで来店しました。

### ・工夫していることや気を付けていることはありますか？

ハラール食であることを証明するために、「ハラール認証」を取得しています。肉は専用業者から購入し、アルコール分が含まれているみりんは利用できないため、水あめや砂糖で代用しています。新しい調味料を購入する時にはムスリムの知人と一緒に行き、原材料が適しているか確認しています。製造元の企業に電話をかけて確認をすることもあります。食材以外の面で

は、お祈り用の部屋を設置し、自由に使えるようにしています。

取材に訪れた際、夜の営業開始と同時にマレーシア人のお客さんが続々と訪れました。2016年1月の開店以来、数えきれないほど、しょっちゅう食べに来ているというウマルさんは「ハラール食材で日本食が食べられるのが嬉しい。牛タンがお気に入り」と言い、ウマルさんと一緒に来ていたファニスさんも「メニューがたくさんあってどれも美味しい」と、焼肉定食を美味しく食べていました。

現在20近いメニューがあり、今後もおでんなど新メニューを考案中だそうです。成田屋チェーンは2013年に浅草で1号店がオープンしたのち、京都祇園、そして仙台と事業拡大を続けていて、将来的にはパキスタンやマレーシア、インドネシアにも成田屋を進出させるプランもあるそうです。

倉田さんは「ハラール食材で作る日本食をムスリムに食べて欲しいと思ってお店を開いた。日本人のお客さんも大歓迎なので、難しくは考えず、ぜひ食べに来てください。食べてもらって、ムスリムへの偏見もなくせたら嬉しい」と話していました。

## Halal Food 成田屋 仙台店

仙台市青葉区昭和町2-29ジュネパレス101

070-5096-2946

<http://www.naritayajp.com/blank-1>



倉田さん（中央）が持っているのが「ハラール認定証」



開店当初から続く人気の「チキン丼」

We  
Love  
SENDAI



チャオ

Ciao!



イタリア出身のダヴィデ・ビッティです！永遠の都とも呼ばれているローマからやってきました。コロッセオ、トレヴィの泉、スペイン広場のような素敵な場所を毎日見て大人になりながら、子どものころから日本に憧れていました。それで、この憧れを追及するために、ローマ大学La Sapienzaの東洋研究学部に入塾して以来、日本語と日本文化の勉強に身をささげることにしました。

現在、東北大学の日本思想史研究専攻に属しています。研究のテーマは「地震鯨伝説」で、地震を巡る神話と民話について検討しています。このテーマを選んだのは、2011年3月11日に交換留学の最中で、仙台で東日本大震災を経験したからです。あのころ、留学が終わって、ローマに帰っても仙台に戻りたいという気持ちを抑えられませんでした。それで、諦めずに、やっと2015年4月から国費留学生として大好きな杜の都に戻ることができました。

なぜそこまで仙台が好きだろうかと聞かれたら、答えは簡単でしょう！仙台は都会でありながら、自然が多いし住みやすいですね！その上に遊ぶ所も多いし、食べ物とお酒はおいしいし、皆すごく優しいですよ。イベントと祭りも多くて、街歩きするだけで心が温まります。

このコーナーでは、  
仙台で国際活動をする市民が活動  
紹介や仙台の魅力を伝えます！

実は、この仙台への気持ちをイタリアの人々に伝えるために、2010年から自分のYoutubeチャンネルを始めました。チャンネルの名前は「Vivi Giappone」で、毎週新しいビデオを発信しています。観光スポットであり、祭りであり、地元の方々へのインタビューであり、できる限り仙台、宮城、そして日本全国の魅力をイタリアから見ている13500人以上のフォロワーに伝えたい気持ちでいっぱいです。そして、私の動画を見て実際に仙台に遊びに来ている人もどんどん増えているので、これからもっと頑張りたいと思います！皆さんも是非、私の「Vivi Giappone」に登録してみてください！

ところで、イタリア人とローマの出身として、母国と仙台の間の絆がとても強いと感じます。皆さんは知っているように、450年前に支倉常長と慶長遣欧使節団はローマの港であるチベタベッキオに着き、ローマとヴァチカンを訪ねたことがあります。やはり、この慶長遣欧使節の話を知ったら、現代に生きている自分自身もこのローマと仙台の繋がりをより一層強くしたいと思います。そのためにも、SenTIAとコラボし続け、仙台の皆さんにこれからもローマとイタリアの素敵なことについて語るつもりです。

それでは、これからもよろしくお願いたします。A presto!



両親の初来日の時に  
八千公前で撮りました！